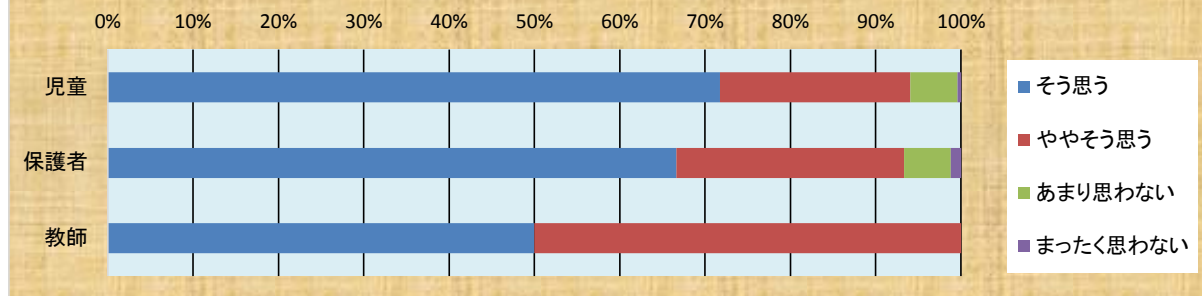


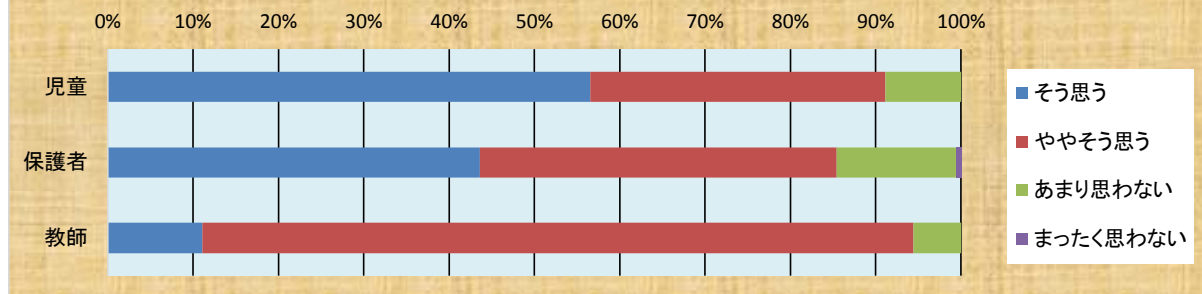
「学校評価・教育活動等に関するアンケート」保護者・児童・教師比較結果

1 学校は楽しいですか



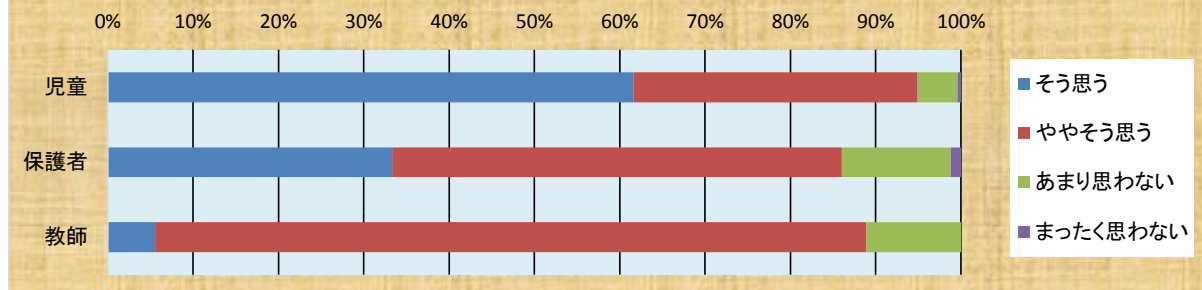
設問1「学校は楽しいか」に対して「そう思う」「ややそう思う」と肯定的な回答が保護者、児童、教師ともに9割を超えている。学校が楽しいと感じる要因には様々なことが考えられるが、これからも、わかる・楽しい授業づくり、学校行事などの充実を進め、すべての児童が楽しく感じる学校にしていきたい。しかし、わずかではあるが「あまり思わない」「まったく思わない」の割合が児童、保護者で増えているので、そういう児童を見逃さず、指導していく必要がある。

2 授業は楽しいですか



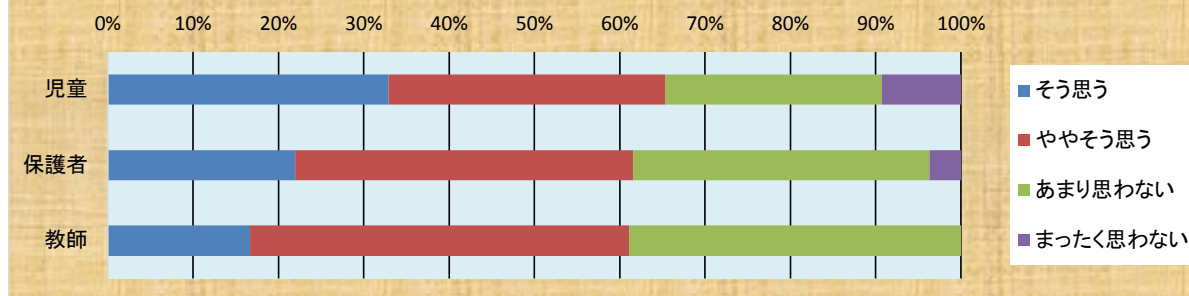
設問2「授業は楽しいか」に対しては、保護者の8割、児童の9割以上が肯定的な評価をしているが「あまり思わない」「まったく思わない」という回答も皆無でない。今後はこのことを真摯に受け止め、「誰もが楽しい」と感じられる授業をめざすとともに、保護者にもお知らせしていきたい。

3 授業の内容はわかりますか



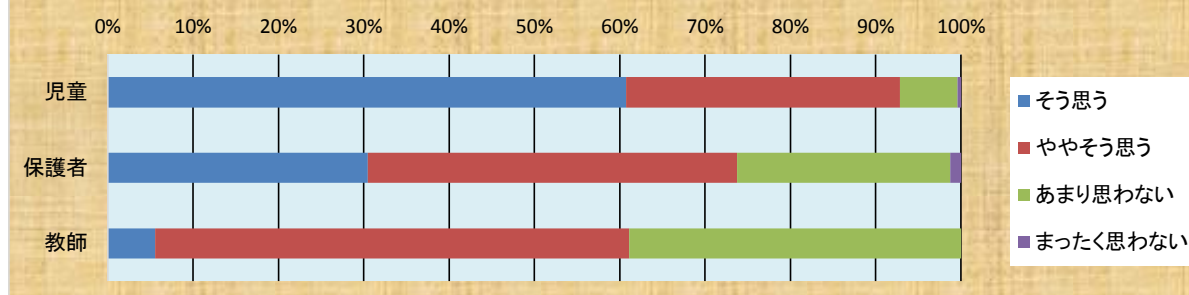
設問3「授業の内容はよくわかるか」に対しては、肯定的な回答が児童、保護者、教師ともに9割近くある。しかし、保護者、教師ともに「あまり思わない」「まったく思わない」という回答が1割を超えている。来年度からの新学習指導要領実施に向けて今後も研鑽を重ね、教師一人ひとりの授業力を高めていきたい。

4 授業中進んで発表しますか



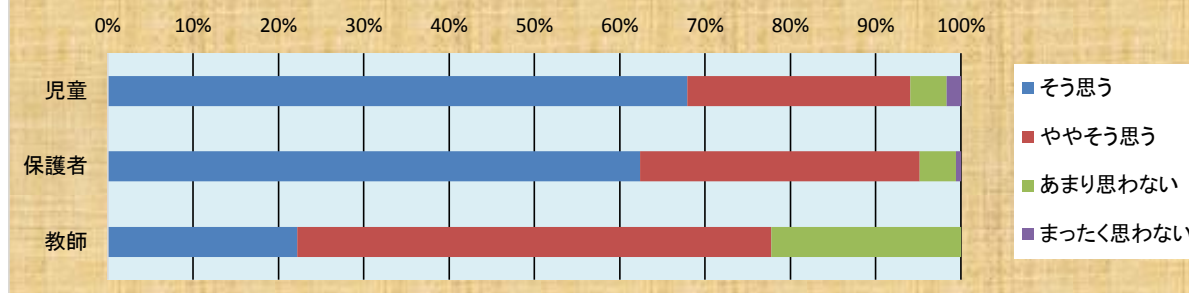
設問4「授業中進んで発表するか」については、保護者、児童ともに「あまり思わない」「まったく思わない」という回答が若干増えているが、教師は3割程度増えている。新学習指導要領では「主体的な学び」の実現が目標の一つなので、来年度、この視点から授業への参加度を高める工夫をしたい。

5 先生や友達の話をしっかり聞くことができますか



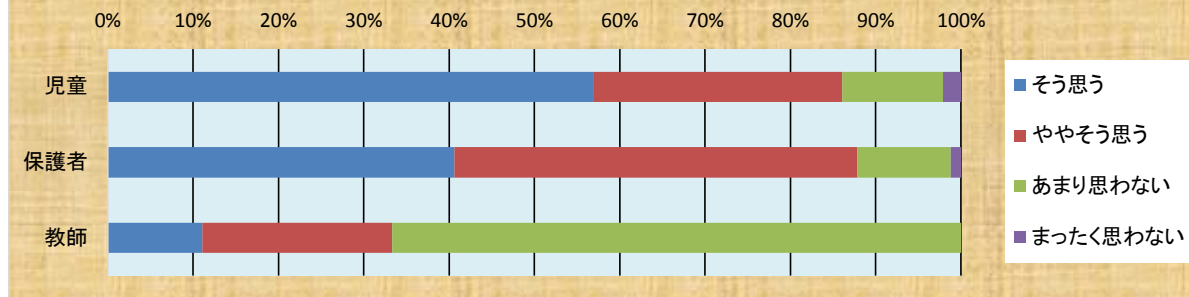
設問5「先生や友達の話をしっかり聞くことができるか」に対しては児童の肯定的な回答が多い一方で、教師、保護者の側からみると一概にそうとは言い切れない。今後も行事や集会などを通して、他人の話をしっかり聞く姿勢を涵養するとともに、新学習指導要領にある「対話的な学び」の実現をめざす中で、聞く力を養っていききたい。

6 学校のきまりを守っていますか



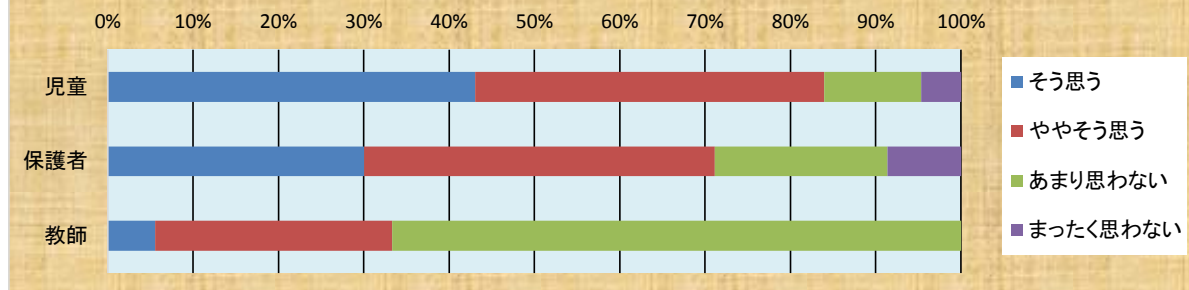
設問6「学校のきまりを守っているか」に対しては保護者、児童ともに肯定的な回答が多く、きまりを遵守しようとする意識が高い。教師のねばり強い指導が浸透しつつあることがわかる。

7 学校であいさつや返事ができていますか



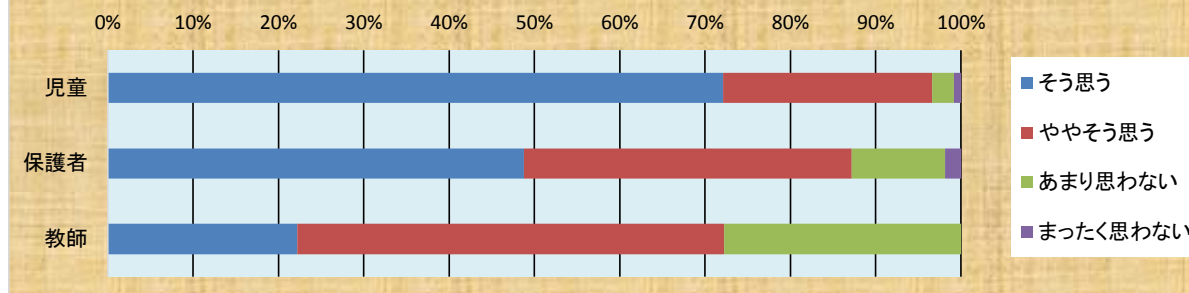
設問7「学校であいさつや返事がしっかりとできているか」については、保護者、児童ともに「あまり思わない」「まったく思わない」という回答が若干増えているが、教師は4割程度増えている。あいさつや返事の指導については、さらに集会や各学級においてその大切さを伝えていきたい。また、児童会やPTAによるあいさつ運動などを積極的に進め、地域の方々にも元気にあいさつのできる子どもを増やしたい。

8 持ち物をきちんと持ってきていますか



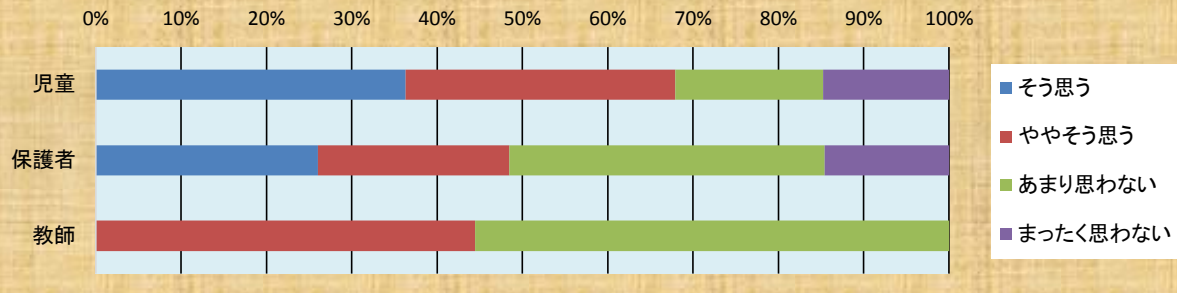
設問8「持ち物をきちんと持ってきているか」については、保護者、児童ともに「あまり思わない」「まったく思わない」という回答が若干増えているが、教師は2割程度増えている。学校に持ってくるものはもちろんのこと、学校に忘れ物を取りにくる児童も目立ったように思う。忘れ物を減らす取り組みを進めるとともに、忘れ物を取りにこない指導についても検討する必要がある。

9 時間のけじめをつけていますか



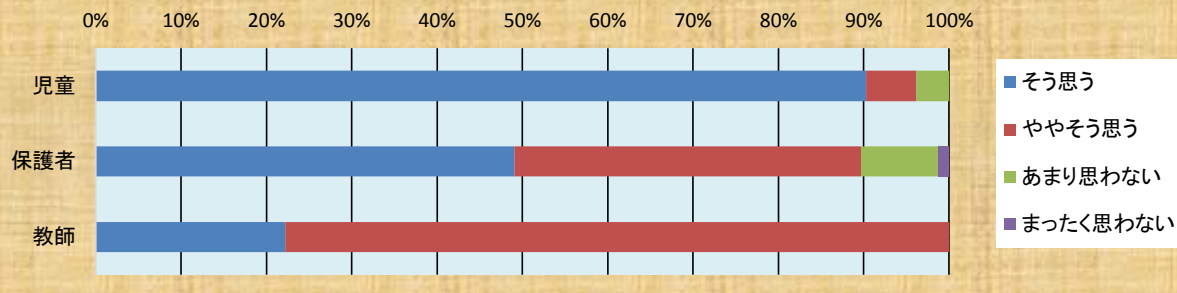
設問9「時間のけじめをつけていますか」は、「そう思う」「ややそう思う」と回答した児童、保護者、教師がともに若干減少傾向にある。学習規律の徹底と時間順守を意識させながら、基本的生活習慣の定着を図るとともに、児童・教師が時間に余裕をもった生活を送ることができるような環境づくりも大切であるとする。

10 読書をすすんでしていますか



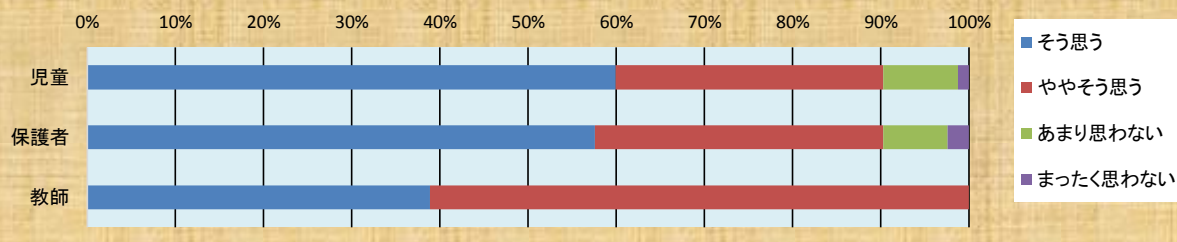
設問10「読書」については、「あまり思わない」「まったく思わない」の割合が児童、保護者で増えており、「読書ばなれ」の状態を表している。ゲームやインターネットの普及など様々な環境の変化も要因の一つと考えられる。教師も3割近く増えているが、これは日課の変更により朝学習の時間が減少し、読書の指導を十分に行うことができなかったことも一因であると考えられる。今後も学校においては、できる範囲の中で朝読書や読書週間、スタンプラリー、多読賞など、さまざまな啓発活動に継続して取り組みたい。

11 仲の良い友達がいいますか



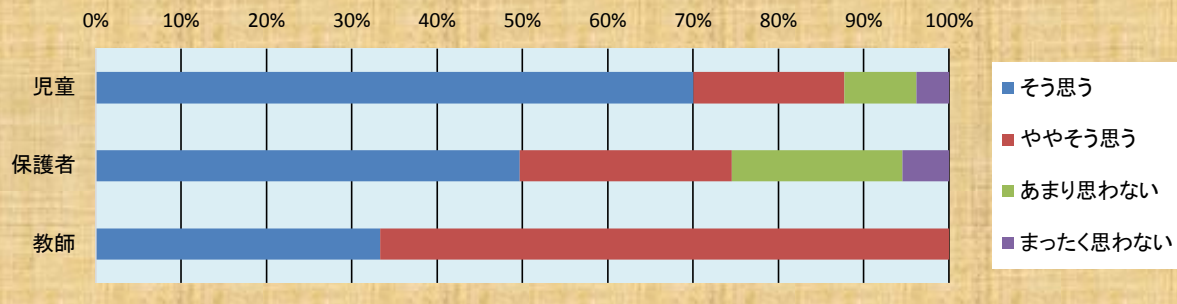
設問11「仲の良い友達がいるか」については、児童、保護者、教師ともに肯定的な回答が9割近くいるが、「あまり思わない」「まったく思わない」と答えた保護者が1割程度いた。今後も児童の交友関係の変化に気をつけながら、学級における温かい人間関係づくりや、異学年交流を継続していきたい。また、保護者に対して児童の様子を適宜伝えていくことも重要であると考えられる。

12 よいことをした時や頑張ったとき、先生はほめてくれますか



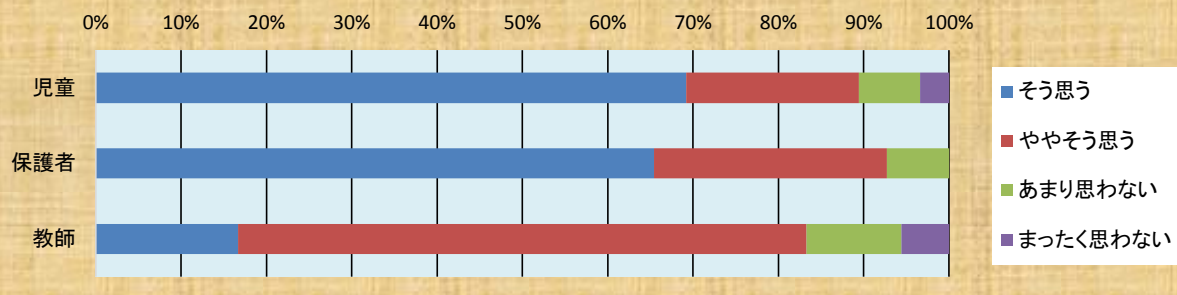
設問12「先生はほめてくれるか」に対しては、肯定的な回答が多く、概ね良好な関係といえる。しかしながら、否定的な回答の保護者、児童が約1割いる。これからも教育相談などの機会や全職員による児童への働きかけを通して児童と教師の良好な人間関係づくりにより一層努めたい。

13 放課は外で元気よく遊べますか



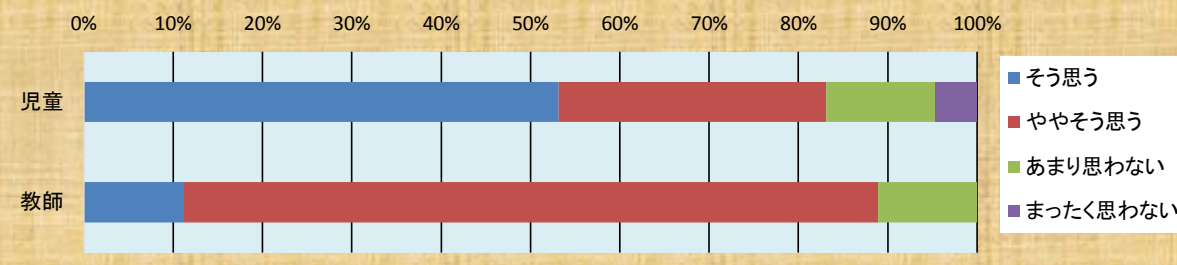
設問13「放課は外で元気よく遊ぶか」については、28年度から始めたACPの取組により、外で元気に遊べる児童が高い水準にあるが、保護者の否定的な意見が約1割増えた。記述回答を見ると「教師と一緒に遊んでほしい」という意見が複数あり、それに対する期待の表れとも考えられる。今後も放課や体育時などに思いっきり身体を動かす機会を積極的に作っていききたい。

14 給食は残さず食べますか



設問14「給食は残さず食べているか」に対しては、児童、保護者、教師ともに昨年並みに肯定的な回答が多い。今年度もみんな残菜を減らそうと取り組んだ結果、他の学校と比較して残菜率は毎月低い。これからも栄養価に富み、偏りのない食事が提供される給食を体調や体質に応じて、無理のない範囲で残さず食べられるように指導していきたい。

15 文字を書くときは良い姿勢で書けましたか(1,2年) 書道科の時間は楽しく取り組みましたか(3～6年)



設問15「書道科」に対しては、8割以上の児童と教師が概ね書道科の時間の目標を達成していると回答した。特に教師の肯定的な回答が増えている。今後も指導法を工夫改善しながら、楽しく学ばせるとともに、授業に取り組む姿勢や集中力も身につけていきたい。